

第 2 回 TOMAS 東京都 3 年生サッカー交流大会 第 16 ブロック大会 要項

<大会趣旨>

- ・ 少年期における子供たちの健全なる心身の発達を願い、そしてサッカーのゲームを楽しみ、愛する心を育てる。
- ・ 選手育成を目指し、多くの選手に試合経験を与えることを目的とする。

1. 主 催 公益財団法人東京都サッカー協会 東京都少年サッカー連盟
2. 主 管 東京都少年サッカー連盟
3. 協 賛 リソー教育グループ
4. 協 力 大妻女子大学
5. 期 日 第 16 ブロック大会 予選交流大会 平成 30 年 12 月 2 日（日）
中央大会 平成 30 年 3 月 10 日（土）・3 月 11 日（日）
6. 会 場 予選交流リーグ 大妻女子大学
中央大会 府中市少年サッカー場
7. 参加資格 ① 平成 30 年度（公財）日本サッカー協会第 4 種に団体登録し、第 1 ブロックから第 15 ブロックに所属する女子のみで構成する団体と第 16 ブロックに所属する団体より 1 チームの参加とする。
（ただし、人数が満たない場合に合同チームでの参加も認める。）
② 大会参加チームは別紙メンバー表に選手名、登録番号を記入し大会当日に選手証と共に持参、本部にてチェックを受けるものとする。（30 分前）
③ 上記チームに所属する選手であり、本協会の登録選手証を有する選手証が発行されていない時期に公式戦に参加する際は、Web 登録の了承済みの写しを代用すること。
④ 年間を通してスポーツ保険に加入していること。
⑤ 小学校 3 年生から 1 年生の少女で編成されたチームであること。
ただし、1 年生の選手を含める場合は、選手の健康・体格・体力・技能等を十分に考慮し、チームの責任者において出場させること。
⑥ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある成人の指導者であること。
内 1 名以上が本協会公認コーチ資格 D 級コーチ以上及び公認キッズリーダー・ブロック指導者講習会受講者であること。
8. 競技規則 ① 試合は、実施年度「サッカー競技規則および 8 人制サッカールール」に準ずる。
ただし、本大会要項に定められた事項が優先する。
② 8 人制とする。
③ 競技時間は、参加チーム数によって大会本部にて決定する。
④ 試合ごとに登録選手全員が随時、自由に交代することができる。
第 16 ブロック大会においては、フィールド上に 8 人の競技者がいない場合、試合は参考試合となる。
⑤ ゴールは、少年用ゴールを使用する。
⑥ 本大会の試合中、退場処分を受けた者は、次の試合 1 試合に出場できない。
（警告回数が 2 に達した場合も同措置とする。）

次の試合は、その選手を除いた 8 名で行なう。

- ⑦ 試合球は、4 号ボールとする。
- ⑧ 8 人制の審判は、1 人の主審と 1 人の補助審判（必須）で行なう。

※ 審判は審判報告書及び重要事項報告書を携帯し、懲戒罰、報告事項のある場合本部に報告する事。

9. 競技者の用具（ユニフォーム）

- ① リーグ戦実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。
- ② 選手番号は規定（背面：縦 25cm-35cm、前面：縦 10cm-15cm）サイズを適宜縮小することができる。
- ③ 番号表示はシャツの背面及び前面とする。ショーツには表示を推奨する。
- ④ 当日の対戦相手とユニフォームの色確認を用具チェック前に行っておくこと。
- ⑤ ゴールキーパーの予期せぬ事態でのフィールドプレーヤーとの交代の場合、試合で使用していない正副いずれかのシャツで本人の番号であれば着用可能。それが難しい場合は番号無しの安全なジャージ等の着用を認める。
- ⑥ その試合で必ずフィールドプレーヤー (FP) に代わることが決まっているゴールキーパー (GK) のパンツとストッキングは、最初からフィールドプレーヤーのものを着用しても良い。⇒その GK は必ず FP にならなければならない。
- ⑦ インナー等はユニホームと同色（正副同様）とする。

10. 競技のフィールド

コート of 広さ	30～40m	×	50～60m	を標準とする。
ペナルティーエリアの縦	12m		ペナルティーマーク	8m
ペナルティーアークの半径	7m		ゴールエリアの縦	4m
			センターサークルの半径	7m

11. 大会参加費 5,000 円

- 12. その他 登録選手全員がベンチ入りできる。また、全員が出場できるようチーム内で配慮すること。

大会組合せに関しては申込順を考慮し、本部にて決定する事とする。

大会出場チームの中で成績優秀な 6 チームを中央大会に推薦する事とする。

以上